

ポーランド政治・社会情勢

(2012年4月5日～11日)

平成 24 年(2012 年)4 月 13 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S	
<p>政治</p> <p>カチンスキ「法と正義」(PiS)党首,大統領選挙への出馬を表明 政府専用機墜落事故二周忌追悼式典 コヴァル欧州議員がティモシェンコ前首相と面会 外務省,ミャンマーの連邦議会補欠選挙を評価 ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊,3基地を米軍部隊に引き継ぎ 温家宝首相が今月末にポーランドを訪問 文化相がスモレンスクを訪問 コモロフスキ大統領夫人の訪日</p> <p>経済</p> <p>3月の新車登録台数は増加,製造台数は減少 140万haの穀物が霜害の影響を受ける PKNオルレン社が最も価値あるブランドに 公共入札の2011年実績と見通し 経済省の輸出促進プログラム 財務次官の2012年財政赤字及び累積債務見通し 環境相,遺伝子組み換え作物禁止に関しグリーンピースと会談 シェール・ガス開発の状況 ポーランド人負債者数が増加傾向</p> <p>大使館からのお知らせ</p> <p>経済指標4月版の改訂について クラクフ領事出張サービスについて 平成24年度分教科書の配付について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事</p> <p style="text-align: center;">在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</p>								<p>【お願ひ】3か月以上滞在される場合、在留届を大使館に提出していただき、大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先:大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書 在外投票 旅券 戸籍 国籍関係の届出について</p>	

政	治
内	政

カチンスキ「法と正義」(PiS)党首、大統領選挙への出馬を表明【6日】

6日、カチンスキPiS党首は、民放テレビ局「TVN 24」のインタビューにおいて、2015年に予定される次期大統領選挙に出馬する意向を表明。これまで同党首は、次期大統領選には出馬しないと表明してきたが、党や国民からの要請を受け考えを変えたと発言。

政府専用機墜落事故二周年忌追悼式典【10日】

10日、政府専用機墜落事故二周年忌の追悼式典が、ワルシャワのポボンスキ国立墓地にて執り行われ、トウスク首相ら閣僚が参列。PiSは、大統領官邸前において、党支持者らと独自の追悼式典を開催。カチンスキPiS党首は、政府が本件事故調査をロシア側に委託したことは国家の恥であると、改めて政府の対応を非難。

外	交
---	---

コヴァル欧州議員がティモシェンコ前首相と面会【5日】

5日、ポーランドのコヴァル欧州議員はティモシェンコ前ウクライナ首相とハリコフの刑務所で1時間にわたり面会し、欧州統合などについて話し合った。コヴァル議員は、EUの政治家として初めてウクライナ当局からティモシェンコ前首相との面会を認められた。

に集中する計画。

温家宝首相が4月末にポーランドを訪問【10日】

10日、ポミャノフスキ外務次官は、中国の温家宝首相が4月末にポーランドを訪問すると発表。ポーランド民主化後初めての中国首相の訪問となる。同首相は、トウスク首相及びコモロフスキ大統領と会談し、主に経済関係について協議する予定。

外務省、ミャンマーの連邦議会補欠選挙を評価【5日】

5日、外務省は、1日に行われたミャンマーの連邦議会補欠選挙における、民主化運動指導者アウン・サン・スーチン氏率いる野党の勝利を評価する声明を発表。

文化相がスモレンスクを訪問【10日】

10日、ズドロイエフスキ文化相は、政府を代表して政府専用機墜落事故2周年追悼式典に出席するため、事故現場であるスモレンスク(ロシア)を訪問。2013年の3周年記念式典の際には、同地の記念碑が序幕される予定。

ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊、3基地を米軍部隊に引き継ぎ【7日】

7日、ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊は、ガズニ県にある3基地(ウォリアー、アリアナ、ジロ)を米軍部隊に引き継ぎ、ガズニ基地に集約。今後ハイウェイA1の安全確保と同地区の権限委譲プロセス

コモロフスキ大統領夫人の訪日【11日】

コモロフスキ大統領夫人は、12日から日本を訪問する。日本滞在中は、皇后陛下との御会見、城西大学での講演、ポーランドの慈善団体による寄付で再建された気仙沼の幼稚園訪問等が予定されている。

経	済
---	---

3月の新車登録台数は増加、製造台数は減少【6日】

サマル社の発表によると、3月の新車登録台数は前年同月比8.7%増の23,413台であった。第1四半期は前年同期比12.7%増の77,294台。第1四半期の1位はシュコダ(9.9千台)、2位はトヨタ(6.4千台)だった。上位10社の中では、オペル(-5.1%)及びフィアット(-22.2%)のみが前年同期比減となったが、他の8社は二桁増であった。フォルクスワーゲン(60%増、5.6千台)及びシボレー(64%増、3.7千台)が大幅に増加し、後者については初めてポーランド市場でトップ10入りを果たした。他方、同社発表による3月の乗用車及び業務用バン

の製造台数は前月比6.7%減、前年同月比26%減の64,400台。第1四半期全体では前年同月比17.5%減の195,600台。

140万haの穀物が霜害の影響を受ける【6日】

6日、サヴィツキ農業相は、140万haにおよぶ霜害により、冬季穀物が損害を受けたと述べた。しかしながら、同相は、霜害は穀物の急激な価格高騰を引き起こすものではなく、年間の価格上昇は最大でも5%になると予測。霜害による損失の試算結果は、2、3週間後に明らかになる予定。政府は、霜害を受けた農家への財政支援策を講じる予定。

PKNオルレン社が最も価値あるブランドに【9日】

ポーランドで最も価値のあるブランドはPKNオルレン社であったと、ジェチポスポリタ紙が報道。同社が第1位となったのは5度目で、ブランド価値は昨年より1%上昇し、37億ズロチであった。同社の後には、PKO BP(銀行、37億ズロチ、3%増)PZU(保険、24億ズロチ、17%減)、TP(通信、前年同の18億ズロチ)、ピエドロンカ(ディスカウント・ストア、17億ズロチ、27%増)と続いている。

公共入札の2011年実績と見通し【10日】

公共調達局(UZP)によると、2011年の公共事業入札総額は1,440億ズロチで、前年より230億ズロチ減少し、統計開始以降初めての下落となった。2010年の入札総額は記録的な伸びを示し、前年比32%増の1,670億ズロチに達していた。入札総額の減少は、EU基金の減少が影響しており、欧州サッカー選手権関係のインフラ事業は一層の影響を受けるものと見られている。専門家は、入札総額は新たな枠組みによるEU基金の流入が始まった後、2015年頃に再び上昇をはじめ、2017年頃にピークを迎えると予想している。

経済省の輸出促進プログラム【10日】

経済省は、海外への輸出を促進するため、2億5,000万ズロチを15の異なる事業に費やす予定。事業は既に2011年から実施され、家具部門などで案件が承認済み。また各分野ではターゲット国が設定され、例えば防衛関係であればマレーシア、インドネシア、インド、鉱業機器関係では、鉱業部門の飛躍的成長が見込まれるロシア、中国などとなっている。各社はこれらの補助を、主に国際見本市などへの参加費用として受け取ることとなる。

財務次官の2012年財政赤字及び累積債務の見通し【11日】

ラジヴィル財務次官は、2012年の財政赤字は、2011年と同様、予算案の350億ズロチよりも非常に少なくなる可能性が高いとコメント。また、同じく2012年の累積債務については1%以上削減され、GD

P比53.5%になると予想。

環境相、遺伝子組み換え作物禁止に関しグリーンピースと会談【11日】

11日、コロレツ環境相はポーランド・グリーンピースの活動家と遺伝子組み換え作物の栽培禁止に関して会談。双方とも遺伝子組み換え作物の規制が必要であるとの点で一致した。グリーンピースの広報担当は、「環境相は、トウモロコシ及び同相自身も国内で遺伝子組み換え作物を禁止したいとの考えであることを明確にした」と述べた。なお、4月4日、グリーンピースとその他の環境保護団体が、首相府前でトウモロコシの遺伝子組み換え作物である「モンサント810」の禁止を要求する抗議活動を実施していた。

シェール・ガス開発の状況【11日】

3月末までにポーランドで掘削されたシェール・ガス試掘孔の数は18か所となった。他に14か所が現在掘削中、39か所が今年中に掘削開始予定となっている。年初から3月末までに、Talisman Energy Polska社、Vabush Energy社、Orlen Upstream社、Marathon Oil Poland社及びEni Polska社により5か所の試掘孔で掘削が行われた。環境省は、試掘孔の数が100に達すれば、ポーランドのシェール・ガス埋蔵量に関するより信頼性の高い検証が可能としており、現在予定されている全てのプロジェクトが成功すれば、ポーランドは71か所の試掘孔を有することになる。国有財産省の計画では、ポーランドでは2014～15年に、年間5～10億立方メートル規模のシェール・ガスの採掘が行われる見通し。

ポーランド人負債者数が増加傾向【11日】

ビッグ・インフォモニター社のレポートによると、2012年3月現在で返済に問題を抱えているポーランド人の負債者数は216万人に達し、2011年11月時点より約7万5千人増加した。負債総額は357億ズロチを超過し、2011年2月から27%、同年11月から4%の増加となった。負債者の平均年齢は30～39歳で、シロンスク県、マゾフシェ県に多く、平均借金額は16,500ズロチ。

大使館からのお知らせ**主要経済指標4月版の改訂について**

中央統計局他より発表された最新の数値をまとめた主要経済指標を当館HPに掲載しております。
<http://www.pl.emb-japan.go.jp/keizai/documents/keizaishihyou4.pdf>

クラクフ領事出張サービスについて

大使館は、5月19日(土)10時から13時までの間、KOSSAK HOTEL(Plac. Kossaka 1, 31-106, Krakow)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは、下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20120519.htm

平成24年度分教科書の配付について

大使館では、ポーランド在住の邦人子女を対象に、平成24年度分教科書を配付いたします(ワルシャワ日本人学校に通学しているお子様には学校から配付されますので、今回の配付の対象とはなりません)。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20120201.html

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成24年9月30日(日)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

〔開催中〕 展示「ポーランドのポスターで見る日本映画」【3月20日(火)～4月30日(月)】

当館広報文化センターにおいて、ポーランド人のアーティストがデザインした日本映画のポスターの展示が開催されています。同コレクションは、日本美術技術博物館マンガの所蔵品です。入場は無料です。

問合せ先・開催場所：在ポーランド日本国大使館広報文化センター(住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話：22 584 73 00, e-mail: info-cul@emb-japan.pl)

〔予定〕 ウッジ日本文化デー【4月14日(土), 15日(日)】

「八雲琴」クラブ主催により、ウッジにて日本文化デーが開催されます。専門家を講師に迎え、日本文化に関する講座、能・日本の武道のデモンストレーション、浮世絵・写真展等、様々なイベントが行われる予定です。

問合せ先・開催場所：八雲琴クラブ(住所：Rewolucji 1905 roku 41, Lodz, 電話：42 635 51 56, Eメール：info@yakumo-goto.pl, ホームページ：<http://www.yakumo-goto.pl/>)

〔予定〕 日本映画「春との旅」ポーランド初上映【4月18日(水)】

当館広報文化センターにて、日本映画「春との旅」がポーランドで初めて上映されます。映画の解説は公式サイト(<http://movie.harui-tabi.com/index.html>)をご参照下さい。入場は無料です。但し、座席に限りがありますので、参加ご希望の方は、広報文化センターまでご連絡下さい。

問合せ先・開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa, 電話：22 584 7300, Eメール：info-cul@emb-japan.pl)

〔予定〕 第1回日本デー【4月21日(土) 14:00～16:30】

ノヴァ・イヴィチナ市で第1回日本デーが開催されます。当日は、合気道・柔道・書道のデモンストレーションの他、折り紙・寿司・囲碁・マンガのワークショップや盆栽の展示が行われます。

問合せ先：「鍛錬道場」合気道クラブ(電話番号：501-516-666 又は 603-280-610)

開催場所：ノヴァ・イヴィチナ総合学校(住所：ul. Krasickiego 56)

〔予定〕 第39回ポーランド極真空手選手権大会【4月28日(土)】

ソスノヴィエツ市で第39回ポーランド極真空手選手権大会が開催されます。ポーランドの空手選手が9つの体重別階級に分かれて対戦します。

問合せ先：ソスノヴィエツ極真空手クラブ(電話番号：32-266-30-00, 電子メール：klub@kyokushinkai.pl)

開催場所：ソスノヴィエツ市スポーツホール(住所：ul. Zeromskiego 9, 電話番号：32-266-38-66)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsletter@emb-japan.pl

（ご連絡は電子メールでお願いします。）